

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和2年度～令和4年度）
研究開発課題名	神経回路基盤の網羅的解析による神経・精神疾患に対する創薬技術向上を目指した評価系の構築
代表機関名	国立大学法人東海大学機構 名古屋大学
研究開発代表者名	加藤 大輔

総合評価：優れている

【評価コメント】

神経回路網の可視化系構築と行動の関連づけのための3次元レベルでの神経細胞活動評価システムの改良・構築、抑制性神経細胞も含む神経回路活動の変化に基づく創薬技術向上のための評価系の構築、および神経回路活動と動物行動との因果関係を検証するシステムの構築を目的として、痛み行動を指標に検討した。

計画はほぼ達成でき、創薬への貢献が期待される。現時点で創薬への活用には薬剤効果の評価に必要な定量性（特異性、直線性、再現性）などのデータの蓄積が必要であり、今後も研究を進展させていただきたい。

以上